

クマ、物価高騰、医療・介護危機打開し 県民の命と暮らしを守る取り組みの強化を 達増知事に来年度岩手県予算に関する申し入れ

12月
県議会

全国初「衆院定数削減に反対する意見書」を採択 第3弾となる中小企業賃上げ支援金に27億円



達増知事に申し入れる(左から) 吉田恭子副委員長、斉藤県議、(右から) 高田一郎県議、菅原則勝県委員長 (12月8日)

12月8日、達増拓也知事に対し2026年度岩手県予算に関する申し入れをしました。内容は、(1)クマ出没から県民の命と安全を守る、(2)物価高騰から暮らしと営業を守り地域経済を立て直す、(3)大船渡市林野火災と東日本大震災津波の復興、(4)命と暮らしを守る新たな県政めざしての4部構成です。

斉藤県議は、クマの出没をリアルタイムで情報提供し、生活圏に現れたクマは被害が出る前に積極的に捕獲すべきだと強調。ハンター報酬の大幅改善、箱わな増設など災害並みの緊急対策を求めました。

また、高市政権の物価高騰対策が一時しのぎにすぎないなか、県が中小企業の賃上げ支援金第3弾を27

2026年度県予算に関する申し入れの主な内容

- ◇クマ出没から県民の命と安全を守るため災害並みの対策を
- ◇参院選での審判を踏まえ消費税5%減税とインボイスの中止
- ◇コメ不足と価格高騰への対策、酪農・畜産農家への支援
- ◇大船渡市林野火災からの復興・復興を進め、15周年を迎える東日本大震災津波の復興の現状と教訓の発信強化
- ◇医療・介護危機打開へ診療報酬・介護報酬等の大幅引き上げ
- ◇県立病院の経営計画(2025-2030)を見直し、医師・看護師の増員で県立病院を拠点にした地域医療の充実を
- ◇パワハラによる県職員自死事件を教訓に、ハラスメントを許さず人権が守られる社会と職場の実現を
- ◇男女賃金格差の是正など、あらゆる場でジェンダー平等を
- ◇教育費の無償化めざし子どもの権利を保障する教育に

億円に拡充したのは重要だと評価
県内の医療・介護危機打開へ、国に

達増知事は「今年度は多事多難な年だった。申し入れを大いに参考にしながら来年度予算編成にあたりたい。早急に手を打たなければいけないものはスピード感をもってやっていきたい」と答えた。



臨時県議会での質疑に立つ斉藤県議 (12月24日)

12月24日の臨時県議会でも、物価高騰から県民の生活と営業を守る補正予算477億円(うち物価高騰対策分は90億円)が可決されました。

LPガス価格高騰対策では使用者(中小企業を含む)に8億4千万円余を支給し、特別支援学校の給食費値上げ分に1100万円を補助。介護施設や障害福祉施設(7億4千万円)、医療機関(4億4千万円)に光熱費や食料料費の上昇に伴う経費の一部を支援します。ケア労働者の賃上げに必要な経費の一部支援については、医療機関(病院を除く診療所等)に約7億円、介護施設に約30億円、障害福祉サービス事業所に4億4千万円を補助します。

クマ対策では、ガバメントハンターの任用やクマよけスプレー

臨時
県議会

全国に先駆け新たな物価高騰対策 ツキノワグマ対策に2億2千万円余

12月10日、12月県議会最終本会議で「衆議院議員定数削減に関する民主的な手続きの遵守を求める意見書」を全国都道府県議会初めて採択しました(自民党・いわて県民クラブが反対)。

意見書では、自維政権の下で唐突に進められた定数削減の議論が「政治とカネ」の問題よりも優先されることは、自民党の裏金問題隠しや企業・団体献金改革の先送りだと批判。多様な国民の声を反映せず、地方の声を切り捨てるよ

うな定数削減は行わないことなどを求めています。

12月1日から最低賃金が時給1031円(79円増)へ大幅に引き上がる中、県独自の賃上げ支援金第3弾として時給60円以上引き上げた中小企業に従業員1人当たり6〜8万円(最大50人分)を補助する27億円の補正予算を計上しました。

さらに、5年連続で全市町村での実施となる福祉灯油助成(1世帯7千円)も盛り込まれました。

県民と心ひとつに
日本共産党
斉藤 信の
県政報告

斉藤信
ホームページ
saito-shin.sakura.ne.jp

2026年1月 No. 193

発行: 日本共産党岩手県議団事務局

斉藤信事務所 TEL. 019(651)1241
〒020-0015 盛岡市本町通2-10-6

日本共産党控室 TEL. 019(629)6050
〒020-0023 盛岡市内丸10-1

斉藤信事務所
X(旧twitter)
@saitoshin_iwate

住みよい盛岡めざして 日本共産党

5人の市議団と力を合わせて頑張ります



庄子春治 高橋和夫 神部伸也 鈴木 努 三田村亜美子

の配備、箱わな購入、放任果樹の伐採、侵入防止柵への補助などに2億2千万円余を計上しました。

小池晃書記局長とツキノワグマ被害の調査



県庁で佐々木副知事（右）から説明を受ける

11月28日、日本共産党の小池晃書記局長が来県し、ツキノワグマ被害の調査を行いました。

県庁では佐々木副知事と懇談。佐々木副知事は、地域住民の安全確保へ「人とクマとの軋轢を軽減していくことが重要だ」と強調。科学的調査に基づくクマの生態や個体数の把握、鳥獣被害防止総合対策交付金の拡充など国への要望を述べました。

盛岡市内の商店会や町内会役員とも懇談し、「昼の時間帯と比べ夜間に飲食店を利用する客が激減した」「高齢者がクマに関する情報を得られていない」など切実な声が寄せられました。

南昌みらい高校新体育館整備問題

覚書に反する矢巾町の対応は重大



文教委員会で質疑に立つ斉藤県議（12月5日）

文教委員会で質疑に立つ斉藤県議（12月5日）

道ではないかと質しました。佐藤教育長は「県単独での整備を検討せざるを得ない」と表明したところだが、町側に照会をかけているところであり、適切に対応していきたい」と答えました。

県教育委員会と矢巾町が共同で整備を予定していた南昌みらい高校の新体育館は、矢巾町長の突然の「ゼロベースでの協議」の申し出により工事が中断、契約が解除されました。12月県議会には、請負業者に5900万円の損害賠償を支払う議案が提案され可決されました。

矢巾町は、県教委と矢巾町が2年半にわたる協議を重ね、計画を確認したうえで覚書が締結（24年5月30日）されたにもかかわらず、「体育館の仕様が変更された」との町長の指摘は事実経過を無視するものと厳しく批判しました。県教委は9月県議会での斉藤県議の一般質問に対し、県単独で整備する方針を示しましたが、体育館の早期建設を求める町民の声と町議会意見書も踏まえ、可能性がわずかでもあるとすれば覚書に基づいた整備が近い道ではないかと質しました。佐藤教育長は「県単独での整備を検討せざるを得ない」と表明したところだが、町側に照会をかけているところであり、適切に対応していきたい」と答えました。

県立高校再編計画

地域の願いに背を向けた再編計画は見直しを



農林水産委員会で質疑に立つ高田県議（12月5日）

農林水産委員会で質疑に立つ高田県議（12月5日）

高田一郎県議は農林水産委員会で鳥獣被害防止対策の抜本的な強化を求めました。一関市では、来年度の電気柵の補助が予定している予算をすくなくすことは、生徒の希望を奪い、1万4千筆の署名が寄せられた地域の願いにも背を向けるものだと厳しく指摘しました。

県立高校再編計画の修正案が11月17日に公表されました。大船渡東高校の調理師養成施設、官古水産への集約と食物文化科の募集停止について、一番入学者が多く地域とも結びついた鳥獣被害防止対策の抜本的強化を求める

高田一郎県議は、ハントの警戒パトロールや1頭当たりの捕獲手当が少なすぎる問題などを指摘。「被害防止対策の予算を拡充し人的体制も強化すべきだ」と訴えました。県側は「鳥獣被害防止総合交付金は、市町村からの要望に対する配分率が79%にとどまっております。国に予算の拡充を求めたい」と答弁しました。高田県議は、緩衝帯の整備に取り組み盛岡市の「里山整備事業」を紹介するとともに、地域ぐるみで被害防止対策に取り組む盛岡市猪去地区の取り組みを全県に広げるよう求めました。



八重樫副知事（左）に要請する県母親大会実行委員会の皆さんと同席する県議員

県母親大会実行委員会

12月18日、岩手県母親大会実行委員会は、10月に盛岡市で開催された第70回県母親大会の申し合わせ・決議・宣言に基づく要請を行いました。

重点項目として、▼教職員の長時間労働の是正▼介護報酬の引き上げを国に求め、県としても訪問介護事業所の実態を調査し支援すること▼コメ危機打開へ、すべての農家の生産を支援し「価格保障・所得補償」を国に求めることなどを要望しました。

県母親大会実行委員会の皆さんが県要請

12月県議会に提出された主な請願・意見書等に対する盛岡選挙区選出県議の賛否（○：賛成 ×：反対 欠：欠席）

案 件	斉藤 信 (日本共産党)	上原康樹 (希望いわて)	小西和子 (希望いわて)	軽石義則 (希望いわて)	吉田敬子 (新政会)	高橋但馬 (新政会)	福井誠司 (自民党)	鈴木亜希子 (自民党)	高橋康介 (自民党)	小林正信 (公明党)	村上貢一 (県民クラブ)
衆議院議員定数削減に関する民主的な手続きの遵守を求める意見書⇒採択	○	欠	○	○	○	○	×	×	×	○	×
私学助成制度の拡充を求める請願・意見書⇒採択	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岩手県における小児がん等治療後のワクチン再接種費用補助制度の早期導入及び強化を求める請願⇒採択	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特別職（知事・副知事・県議等）の給与引き上げに関する条例⇒採択	×	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○

無料法律相談

（弁護士が相談に応じます）

1月21日（水）午後6時
2月18日（水）午後6時
予約電話番号：651-5881

無料生活相談

毎週土曜日 10時～12時

場所：斉藤信事務所

【12月】

1日 ぐずまきワインパーティー
3日 県議会本会議（5日に斉藤県議が議案に対する質疑）
5日 地域総研連続講座「地域と学校の存続」
6日 連増知事に2026年度予算要望、文教委員会
8日 議連、最終本会議
10日 こがしの会議報告会
13日 議連、臨時議会提出議案説明
17日 議連、臨時議会提出議案説明
18日 高校再編地域検討会議盛岡
19日 ①岩手県母親大会実行委員会要請（八重樫副知事、各部局）
24日 高校再編地域検討会議盛岡
29日 議連、臨時議会

【11月】

7日 ツキノワグマ対策で岩瀬友参院議員と北海道・東北県議団が環境省にオンラインで要望。懇談、岩手大学理工学部一祐会盛岡支部総会
12日 花巻市のツキノワグマ対策の調査
15日 消費税をなくす岩手の会総会、消費税廃止各界連講演会（大門みきし参院議員）
16日 小池晃書記局長を迎えたい（AKIフェス）
17日 議連、12月議会提出議案説明
18日 県政要望を聞く会
19日 9条改憲ノー！市民アクション屋デモ
22日 都南地区議会報告会
23日 全県地方議員研修会
26日 12月県議会開会、建設業協会盛岡支部と意見交換会
28日 小池晃書記局長がツキノワグマ対策で調査（佐々木副知事、花巻市のハンター、盛岡市民との懇談）
29日 岩手県革新懇総会で穀田恵二前衆議院議員が講演

斉藤信のパワフル活動日誌